

校長室より

「天空高き」



第146号



令和3年6月1日

すべては光るー各種大会に向けてー

昨年のこの時期は新型コロナウイルス感染防止拡大のため、中学校の選手権予選や高校総体の県予選が中止になりました。

今年は、中学・高校共に感染防止対策を徹底しながら開催されます。

3年生にとっては最後の大会になるクラブもあります。誰もが勝利に向けて、日々、仲間と切磋琢磨しながら、取り組んできました。

何かを行うためには必ず、何かを我慢（犠牲）にしてきました。その何かを行うために皆さんは毎日の小さな努力を積み重ねてきました。その努力の結晶が、光るでしょう。

I can do it. We can do it. 私はできる。私たちはできる。そう考えた者が勝利を得ることができます。

あなたは決して一人ではありません。あなたの周りには、あなたをいつも見守り支え応援してくれる人がいます。決して一人で闘っているではありません。あなたの持っているエネルギーを一点に集中して解き放ってください。それは光となり誰にも見ることができます。

「すべては光る」
光る
光る
すべては
光る
光らないものは
ひとつとしてない
みずから
光らないものは
他から
光を受けて
光る

坂村真民

読む力(読解力)を高めるーいつも考えながらー

2021年度から「大学入試センター試験」は「大学入試共通テスト」に代わりました。

これまでの大学入試センター試験では、「知識・技能」を問う問題が中心でしたが、大学入学共通テストでは、「思考力・判断力・表現力」をより評価する出題形式に変わりました。

基礎学力となる知識が大きく変わるわけではありませんが、問いかけの角度が変わり、思考力・判断力・表現力を問われます。



大学入試センターの問題作成担当者は次のようにコメントしています。

「全体的にセンター試験よりも問題の分量が増え、難しくなるとみえるかもしれませんが。知識を覚えて答えられる問題は極力避け、その場で資料なり前提なりをよく考えて理解し、自分の力で答えるという組み立てになるような問題を出しました」

思考力や判断力を測るため資料は多くなり、設問条件の説明のために、問題文が長くなったということです。受験生の中には、問題文を読むのに時間がかかり、解答時間が足りなくなったという声がありました。

大学入学試験だけでなく就職試験でも皆さんには、知識や技能を活用して問題を解決する力（思考・判断・表現力）が問われています。

国語では、たとえば文学作品を通して多くの語彙や言い回しに触れ、文化の背景を知り（知識・技能）、言葉の奥にある心情を読み取る（読解力）ような授業が展開されています。

他者の言いたいことを何とかして汲み取ろうとする力が「読解力」だとすれば、「読解力」は国語だけに限らずどの教科においても必要になる力です。

普段から、文章を読むだけでなく会話も含めて、相手の考えや気持ちを汲み取ろうとする姿勢を大切にすることが、「読解力」につながると思います。

毎朝の読書タイム、考えながら読んでいますか。

整理整頓—空気の通り道を作る—

今年は例年になく早く梅雨入りしました。

ご機嫌斜めの空模様に憂鬱になりがちな時期です。また、この時期は高温多湿で、カビが繁殖しやすい時期でもあります。

カビを発生させる原因は高温・高湿度、カビのエサとなるホコリやゴミなどの汚れです。

雨天で窓も開けにくい梅雨の時期、換気が悪くなりやすく、まさにカビにとって最高の環境が整ってしまいます。

カビの発生防止はこの下足置き場のようにいつも整理整頓に心掛け、換気を良くすることで



です。換気のポイントは、「対角線の窓を開ける」ことです

部屋や家の対角線に空気の通り道をつくることで、空気の動線が長くなり換気効果が高まります。間取りが許すようならば、できるだけ遠い対角線上の窓を開けるようにしましょう。また、空気の入り口になる窓は狭く（10～20cm程度が目安）開け、出口となる窓は全開にすると、より風通しの効率を上げることができます。風向きを意識して、調整するようにしましょう。なお、その際は、押し入れやクローゼットの扉も一緒に開けておくと、除湿効果がアップします。

毎日のちょっとした丁寧なひと手間で、憂鬱になりがちな梅雨時期を乗り切ることができます。

梅雨前線と秋雨前線

すでに梅雨入りしていますが、なぜこの時期に梅雨前線ができるのかは、中学の理科で学習したと思います。

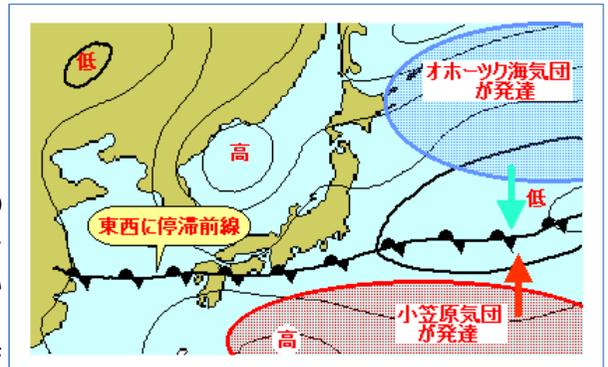
日本列島では5月から6月になると、春の冷たい空気から夏の温かい空気に入れ替わります。春の冷たく湿った空気の塊をオホーツク海気団、夏の温かい湿った空気の塊を小笠原気団と言います。

性質の違う空気（気団）が隣り合う時にできる空気の境目を前線と言います。この時期にこの前線が日本列島上で長期間動かないで、一か所に停滞します。この前線を梅雨前線と言います。

しかし、7月頃になると、次第に小笠原気団が優勢になりオホーツク海気団を北側に押し上げるようになります。そして、梅雨前線が北上して日本列島は本格的な夏が到来します。

秋になると、今度はオホーツク海気団が北側から南下してできる停滞前線が、秋雨前線です。

今年の梅雨はいつごろ明けのでしょうか。早く明ければ暑い夏が、遅くなれば、長雨。皆さんはどちらがいいですか。



教壇に立つ—教育実習—

昨年は新型コロナ禍で教育実習は2学期に行われました。

今年は予定通り6月から2～3週間の期間で実施されます。

5名の実習生の教科・科目等を右の表に掲載しました。

今までは生徒として教えられる立場でしたが、今度は教える立場になります。

母校での実習ですが、彼らは不安と緊張の毎日だと思います。

教育とは生徒を教え育てることです。しかし、私たち教師も生徒の皆さんから教え育てられてきました。共に学び合うことが、私たち教師も生徒の皆さんも成長につながります。

実習生にとって貴重な密度の濃い忘れられない期間になることでしょう。

教科	科目	実習生	出身大学
地公社	世界史	早本 桃悠	龍谷大学
地公社	公民	竹村 侑大	日本文理大学
理科	生物	兼安 雅人	岡山理科大学
保健体育	保健体育	横田 希歩	武庫川女子大学
家庭科	家庭科	大場 美歩	山口県立大学

6月の月間目標

5分前行動

令和3年度
チャレンジ目標

- 1 明るい挨拶
- 2 5分前行動
- 3 交通ルールを守る
- 4 1%を誰かのために

「準備ですべてが決まる」と言われます。良い準備をするためには早めの行動をとることが大切です。

早めの行動をとることで、時間的な余裕が生まれます。余裕が生まれることで、心のゆとりが生まれます。心のゆとりが生まれることとて、視野が広くなり、冷静に客観的に物事が判断できるようになり、ミスが少なくなります。

私も早めの行動することで、何らかのアクシデントで、例えば交通渋滞や事故が発生しても、慌てることなく会議等に遅刻せずに出席することができました。

学校生活の場では、団体行動が基本になります。一人が遅れば全体に迷惑が掛かります。この時期はいろいろな大会等があります。皆さん一人ひとりが早めの行動を取り、ゆとりを持って日頃の練習の成果を発揮されることを期待しています。

二十四節気

『芒種（ぼうしゅ）』6月5日

芒種は稲の穂先のような芒（ノギ）を持つ穀物の種まきをする頃という意味です。芒（ノギ）とは、コメや麦などの先端の小穂のさらに先端にあるとげ状の突起の事です。芒種の頃は、例年は西日本で梅雨入りし、雨が増える時季で、6月の降水量は5月より多く、特に、西日本では降水量が高くなります。これは湿った空気が南西方向から流れ込むことに原因があります。



『夏至（げし）』6月21日

夏至（げし）は、北半球では一年で最も昼が長い日になります。夏至（げし）の日は、北半球では太陽高度が最も高く、日陰は最も短く、更に昼間の時間が最も長くなります。しかし、日本の場合は夏至（げし）の頃は、梅雨時期に当たるため、曇りや雨の事が多く、昼間の長さをあまり実感できないかもしれません。例えば岩国市では、昼間の時間は約14時間半になりますが、実際の日照時間は平年で3～4時間程度となっています。夏至（げし）の約半月後には、暑さが本格的になっていく小暑（しょうしょ）を迎えます。

お天気.com